大学教育と高校教育の関わりを

高大接続教育の一体的改革

大学と高校の関係は、高等教育システムの改革において重要な役割を果たしています。過去の大学教育は、高等教育の質の向上を目指し、高校教育との連携を強調する傾向が見られました。しかし、この改革は、大学教育と高校教育の緊密な関わりを示し、両者の関係をより深く理解することが求められています。

大学教育の改革においては、学部制度の改革、学部間の専門性の強化、学部間の連携や、学部間の学習支援が重要視されてきました。高校教育の改革においても、学部制度の改革、学部間の連携や、学部間の学習支援が重要視されてきました。しかし、大学教育と高校教育の関係は、高等教育システムの改革において重要な役割を果たしています。過去の大学教育は、高等教育の質の向上を目指し、高校教育との連携を強調する傾向が見られました。しかし、この改革は、大学教育と高校教育の緊密な関わりを示し、両者の関係をより深く理解することが求められています。
アクティブラーニングの効果

ICEモデルの活用

図1

ICEモデル

図2

Test scores by students in 2 sections, at end of 1 week:

Diagram showing student test scores before and after implementation of the ICE model.
アクティブ・ラーニングの評価

アクティブ・ラーニングは、学生が積極的に学びを求めて学ぶことを促進する教育方法です。評価については、学生の活動を観察し、成果を評価する方法が考えられます。

以下に、アクティブ・ラーニングにおける評価方法の一例を示します。

- ディスカッションスケジュール: 講義やワークショップの参加、意見の発表、意見の交換、意見の対応
- サンプルテスト: 理論的な知識の理解度を評価
- プロジェクト: 研究の進捗を評価
- インタビュー: 学生の理解度を評価
- セミナー: 学生の発表を評価

これらの評価方法は、アクティブ・ラーニングの実施内容と合せ、学習者の学びの程度を評価するものとして考えられます。